

令和元年10月8日(火曜日)、新大村(仮称)駅新築工事の安全祈願が、関係者約60名の出席のもと、駅の建設地となる大村市植松3丁目で行われました。

式典では、富松神社による神事が執り行われ、工事の安全が祈願されました。

新大村(仮称)駅は、長崎県内で唯一、これまで在来線の駅がなかったところに新たに建設される新幹線の駅であり、大村市が提案した「豊かな自然と歴史・文化が響きあい未来へつながる駅」というコンセプトに基づきデザインされています。

駅の建設地は、現在、土木工事による高架橋工事が進められており、駅は高架下となる1階に改札などが、高架部の2階に長さ160mのホームなどが設置されます。

今後は、駅の鉄骨や屋根、外壁や内装の工事が進められ、工事の完成は令和3年10月の予定です。

【工事概要】

- 1.工事名称:九州新幹線(西九州)、新大村(仮称)駅新築
- 2.請負者:五洋・梅林・高瀬九州新幹線(西九州)、新大村(仮称)駅新築特定建設工事共同企業体
- 3.工期:平成31年1月16日から令和3年10月15日まで



【式典の様子】



【式典の様子】



【鉄道・運輸機構九州新幹線局長挨拶】



【長崎県土木部長挨拶】



【大村市長挨拶】



【完成予想模型】



【外観イメージ図】



【建設地の現況(高架橋建設中)】